

（西暦） 2026 年 9 月 25 日

## 肺がん・CPR 蘇生後の【診断、治療】のため当院に入院・通院されていた患者さんの 診療情報を用いた臨床研究についてのお知らせ

はじめに

### 【研究の意義、目的を記載】

この研究は第 28 回日本救急看護学会学術集会におけるシンポジウム 1：エンド・オブ・ライフケア委員会プレゼンツ「救急看護における看取りから家族看護を考える」でのシンポジストとしての発表である。今回のシンポジウムでは、私は救急の現場におけるがん患者のエンド・オブ・ライフケアとその家族看護に焦点を当てて発表を行う。このセッションでは、救急医療・看護において多様な看取りを経験した事例を紹介し、救急看護における看取り、及びその家族への看護について議論することが目的である。

対象

西暦 2026 年 1 月 6 日より 2026 年 1 月 8 日までの間に、【ICU】にて【肺がん・CPA 蘇生後】の【診断】のため【入院】し、【診療、検査】を受けた方

### 【試料・診療情報等の項目】

試料：なし

診療情報等：（病歴、診断名、年齢、性別、入院日、既往歴、CT 画像 家族説明 看護記録 等）

### 【試料/情報の他の研究機関への提供および提供方法】

本研究で使用される診療情報等は 28 回日本救急看護学会学術集会以外への提供は行いません。

研究課題名

救急現場におけるがん患者のエンド・オブ・ライフケアとその家族看護

研究内容

患者の診療情報をカルテより閲覧、画像および診療方針や看護ケアに関する内容を収集し、分析する

個人情報の管理について

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報、氏名と患者番号のみです。その他の個人情報（住所、電話番号など）は一切取り扱いません。
- 2) 本研究で取り扱う患者さんの診療情報は、個人情報をすべて削除し、第 3 者にはどなたのものかわからないデータ（匿名化データ）として使用します。
- 3) 患者さんの個人情報と匿名化データを結びつける情報（連結情報）は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また、研究終了時に完全に抹消します。

研究期間

病院長承認日～2026 年 11 月 6 日（予定）

医学上の貢献

例：本研究により被験者となった患者さんが直接受け取ることができる利益はありません。しか

し、本研究により救急現場に行ける患者・家族看護への課題や今後の展望をもとに、救急看護における看取りや家族看護への視座を得る機会となり、新たな知見が得られることで科学への貢献が為され、社会への貢献が達成されと考えられます。

(他に共同研究機関があれば記載のこと)

| 所属 | 職名 | 氏名 |
|----|----|----|
|    |    |    |

対応可能時間：平日日中 8：30～17：15

2